

# KEYLEX 700<sup>®</sup>

キーレックス 700  
Mr-I・II  
MIWA LA 対応取替錠

## 取扱説明書 (施主様向)

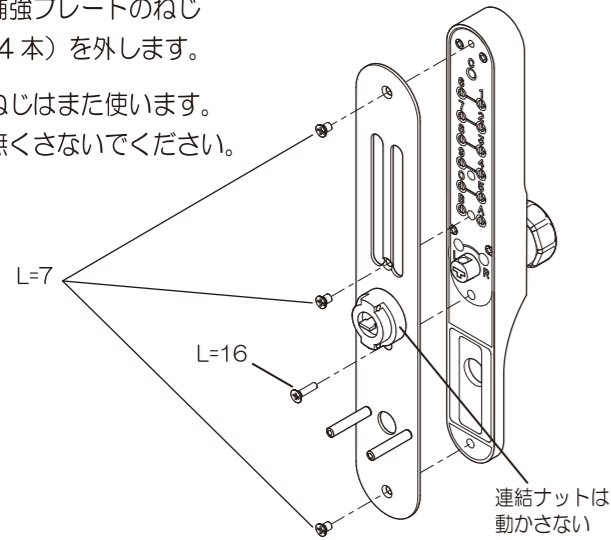
このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。  
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。

### 左吊元時の変更と確認

#### 【1】キーレックス本体と補強プレートをははずす

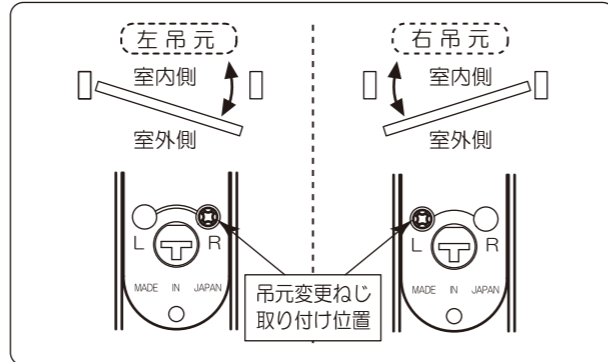
補強プレートのねじ  
(4本)を外します。

ねじはまた使います。  
無くさないでください。



#### 【2】吊元変更ねじを入れ替えて、補強プレートを取り付ける

- ① 図のようにキーレックス本体ウラ側の吊元変更ねじを入れ替えます。
- ② キーレックス本体と補強プレートを【1】と逆に取り付けます。取付ねじの位置に注意してください。



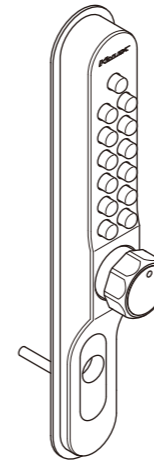
### 記憶番号設定に関するご注意

- キーレックス 700 は 1 ~ 12 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は設定できません。  
例) 記憶番号 1・2・3 の場合  
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。(同じボタンを 2 度押す設定はできません)  
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



### 注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付時の注意
  - 各部取付ねじの締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。
- 取付ねじのゆるみ
  - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的につき締めしてください。
- 受座の飛び出し
  - 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
- 他の用途への使用
  - ロックターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意 (故障の原因となります)
  - 製品の分解、改造はしないでください。
  - テッドラッチ、テッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
  - ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
  - 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
  - 表面の手入れは柔らかな布で拭きしてください。特にボタンまわりは、定期的から拭きし、汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。



22277  
22278

防犯上、記憶番号の変更を定期的におこなうことと、施錠時に記憶番号以外のボタンを空押しすることをおすすめ致します。

| 〈記憶番号の記録〉 |   |   |
|-----------|---|---|
| 年         | 月 | 日 |
| 年         | 月 | 日 |
| 年         | 月 | 日 |
| 年         | 月 | 日 |
| 年         | 月 | 日 |
| ただ今の記憶番号  |   |   |



www.nagasawa-mfg.co.jp

### 株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)  
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032

大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)  
FAX. 06-6783-5092

取り付けられている建具などに異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

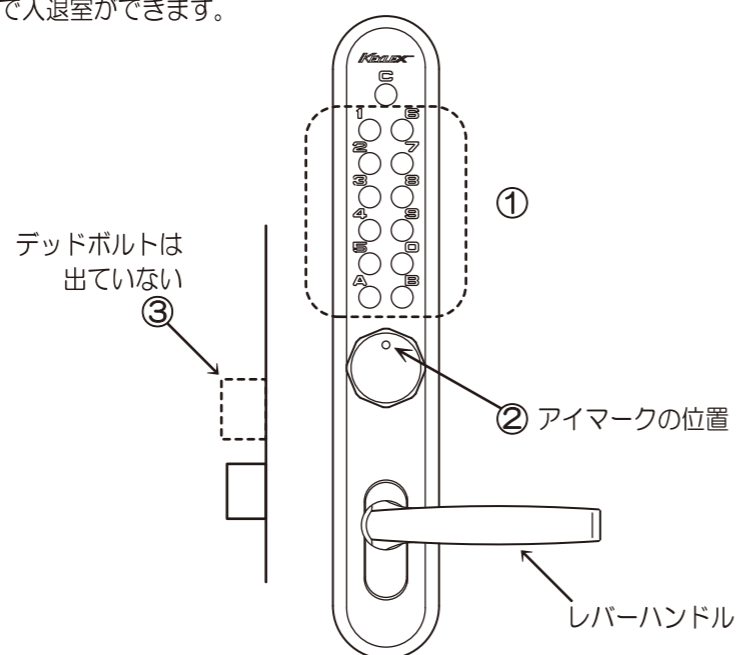
## 基本操作

施錠されていない場合は、レバーハンドル操作のみで入退室ができます。  
施解錠は鍵操作がボタン操作になります。

ご使用前に確認してください。

- ① 登録している記憶番号
- ② ロックターンのアイマークが  
図の位置（真上）にある
- ③ デッドボルトが錠に収まっている

※ 図は右吊元仕様です



室内側

室外側

### 施錠

- ① サムターンを丁番側に90°回す
- ② デッドボルトが出て、施錠されます

### 解錠

- ① サムターンを戸先側に90°回す
- ② デッドボルトが収まり、解錠されます

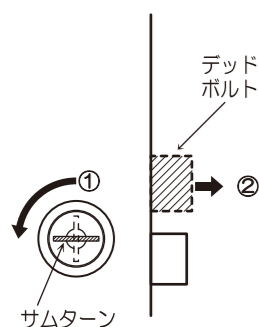
### 施錠

- ① ロックターンを丁番側に90°回す
- ② デッドボルトが出て、施錠されます

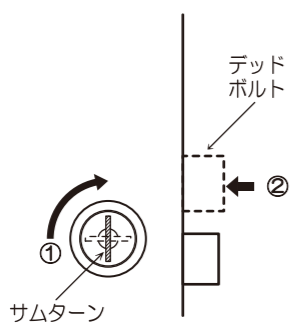
### 解錠

- ① Cボタンを押してください。  
誤操作の記憶番号が解除されます
- ② 正しい記憶番号を押します
- ③ ロックターンを戸先側に回しきります  
(アイマーク: ヨコになる)
- ④ デッドボルトが収まり、解錠されます
- ⑤ ロックターンを90°元に戻します (アイマーク: ヨコ→タテ)

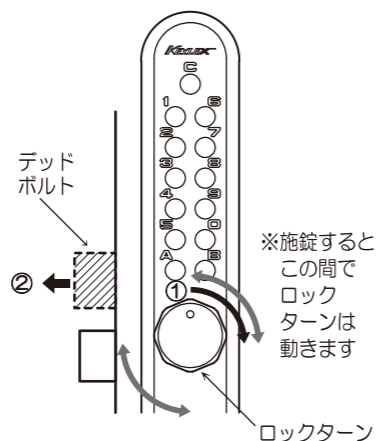
### 施錠



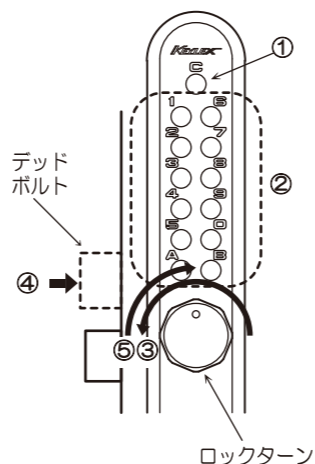
### 解錠



### 施錠



### 解錠



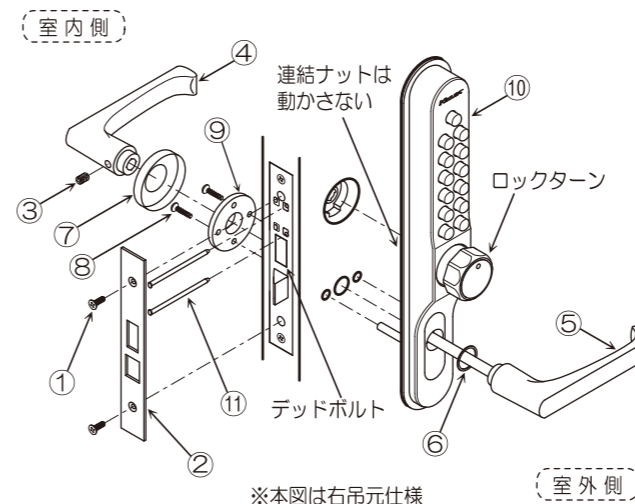
※ 本図は右吊元仕様です。左吊元時は対称です。

## 記憶番号の変更手順

7273465

### 【1】キーレックス本体を取り外します

錠のデッドボルトが収まっている状態で取り外します。  
取り外した部材は全て使います。紛失しないようご注意ください。



- I: ①フロント板固定ねじをはずし、②フロント板をはずします。
- II: ③レバー固定ねじをはずし、④⑤レバーを抜き取ります。  
⑥リングスペーサをなくさないでください。
- III: ⑦座カバーをはずします（ねじ込み式は回転させ、はめ込み式は⊖ドライバーではずします）。
- IV: ⑧補強座固定ねじをはずし、⑨補強座をはずします。
- V: ⑩キーレックス本体の落下に注意しながら、⑪シリンダー固定ピン2本を⊖ドライバーで抜き取り、⑩キーレックス本体を取り外します。  
⑩キーレックス本体裏側の連結ナットが動かないように取り外してください。

### 【2】記憶番号の設定変更をします。

#### 【記憶番号変更の準備】

- ① 本体表側のCボタンを押します。

⚠ ⑦まで、記憶ボタンは押さないでください。

※ Cボタンを押さないと、内部部品が破損する場合があります。必ず押してください。

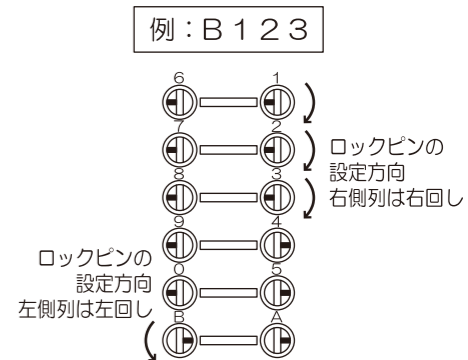
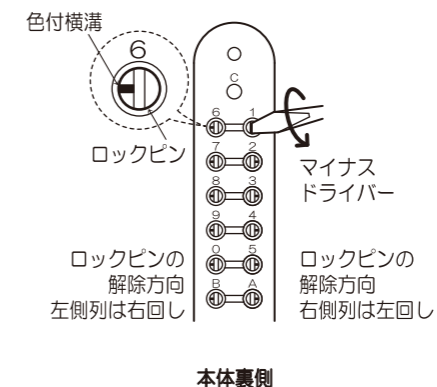
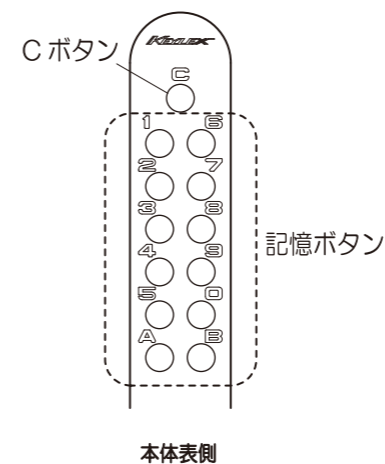
- ② 本体を裏返します。

#### 【現在の記憶番号を解除】

- ③ 本体裏側の、記憶されているロックピンを回転させて記憶されている番号を解除します。（ロックピンの色付横溝を外向きに回転させる）

#### 【記憶番号の設定】

- ⑤ 新しく記憶させる番号は必ず記録してください。本紙表紙に記入欄があります。
- ⑥ 本体を裏返し、記憶させる番号のロックピン色付横溝を中央ライン側に合わせます。



本体裏側

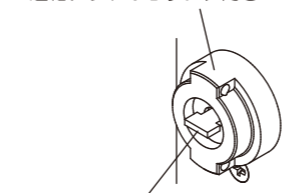
- ④ 本体を表側にします。Cボタンを押し、レバーハンドルが動くことを確認します。

- ⑦ Cボタン+新しい記憶番号を押し、レバーハンドルが解錠方向に回ることを確認します。

基本操作 室外側欄を参照します。

### 【3】本体を取り付けます

連結ナットは必ずタテ向き



テールピースはヨコ向き（ロックターンを回して向きをあわせる）

### 【1】と逆の順番で取り付けます。

キーレックス本体を錠にセットする際、キーレックス本体ウラ面の連結ナットが動かないようにしながら、テールピースの向き、錠の解錠状態（デッドボルトが出ていない）を確認し、取り付けてください。

補強座を取り付けるときは、レバーを仮嵌めして位置決めをします。

左の基本操作に沿って、作動確認をして完了です。

正しく作動しない場合は、記憶番号と吊元変更ねじの確認をしてください。